

コード	401020101
記入日	H25.6.6

課コード	116
課名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	前田 茂樹

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	種苗放流補助事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6		
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3		
基本事業コード	40102	基本事業名称	栽培漁業・資源管理型漁業の推進	目コード	2		
事務事業コード	4010201	事務事業名称	町単独事業費	細目コード	645		
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町水産業振興奨励事業補助金交付要綱				

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 漁協		(対象指標1) 2漁協				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・上五島町漁協及び有川町漁協の2漁協から、種苗放流の交付申請があり補助金を交付した。 →カサゴ放流 10,000尾 →アワビ放流 52,500個 →サザエ放流 20,000個 ・10/1付にて飯ノ瀬戸漁協が上五島町漁協と合併したため、当初計画していた下記数量を取りやめた。 →カサゴ放流 2,000尾 →アワビ放流 10,000個	***** 補助金交付件数	***** 4件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	4件の補助申請があり、交付を行った。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	・種苗放流を実施することにより、資源の増大を図る。	***** カサゴ放流	***** 10,000尾	***** 83.3%	***** 放流尾数÷ 計画尾数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	1漁協においてカサゴ種苗10,000尾を適水域に放流した。			
		② (達成率分析)				
		***** アワビ・サザエ放流	***** 72,500尾	***** 87.9%	***** 放流個数÷ 計画個数	***** 平成24年度
		② (達成率分析)	2漁協においてアワビ種苗52,500個、1漁協においてサザエ種苗20,000個を適水域に放流した。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	19	19	15	4	4				
	②									
成果指標	① 尾	124,000	122,000	112,000	12,000	10,000				
	② 個	660,000	650,000	577,500	82,500	72,500				
総事業費 C (A+B)	千円	23,040	22,710	20,035	3,005	2,675				
直接事業費 A	千円	17,440	17,110	15,135	2,305	1,975				
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	2,300	1,900		2,300	1,900			
	その他	千円								
一般財源	千円	20,740	20,810	20,035	705	775				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	種苗を放流して資源の増大を図る必要があり、事業を継続することで漁業経営の安定につながる。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	放流効果が水揚げとして確認され、資源の減少が軽減されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	藻場の造成を図ることで、より一層の効果が発揮される。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	種苗購入のみの事業費であり、人件費は漁協が負担している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	最小手段での実施を行っている。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	本町の基幹産業である水産業の振興のため、栽培漁業・資源循環型漁業の推進を図るものである。放流事業の有効性の確認のため漁協と連携して水揚げ量の把握・検証を経年的に資料として整理しておくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。